

CASBEE[®] 新築[簡易版]

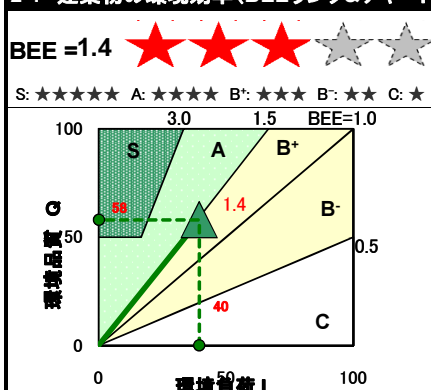
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

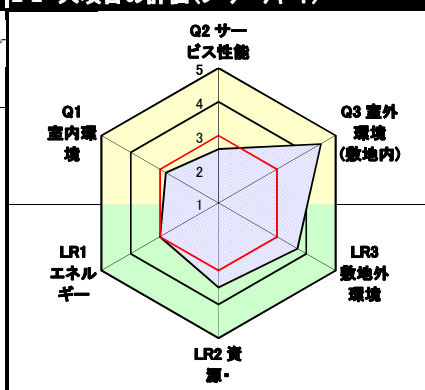
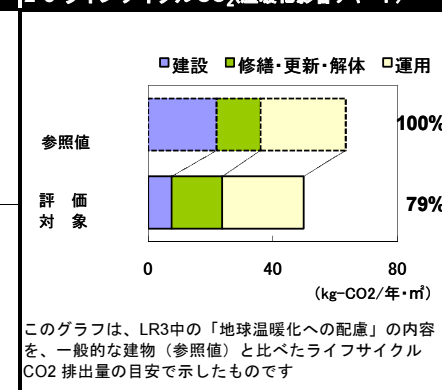
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北河原市営住宅C棟	階数	地上5F
建設地	京都市南区東九条東岩本町7番地の1ほか	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	130 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年7月 予定	評価の実施日	2008年2月19日
敷地面積	2,593.97 m ²	作成者	樹谷設計 中元綱一
建築面積	746.47 m ²	確認日	2008年2月19日
延床面積	2,469.56 m ²	確認者	樹谷設計 中元綱一



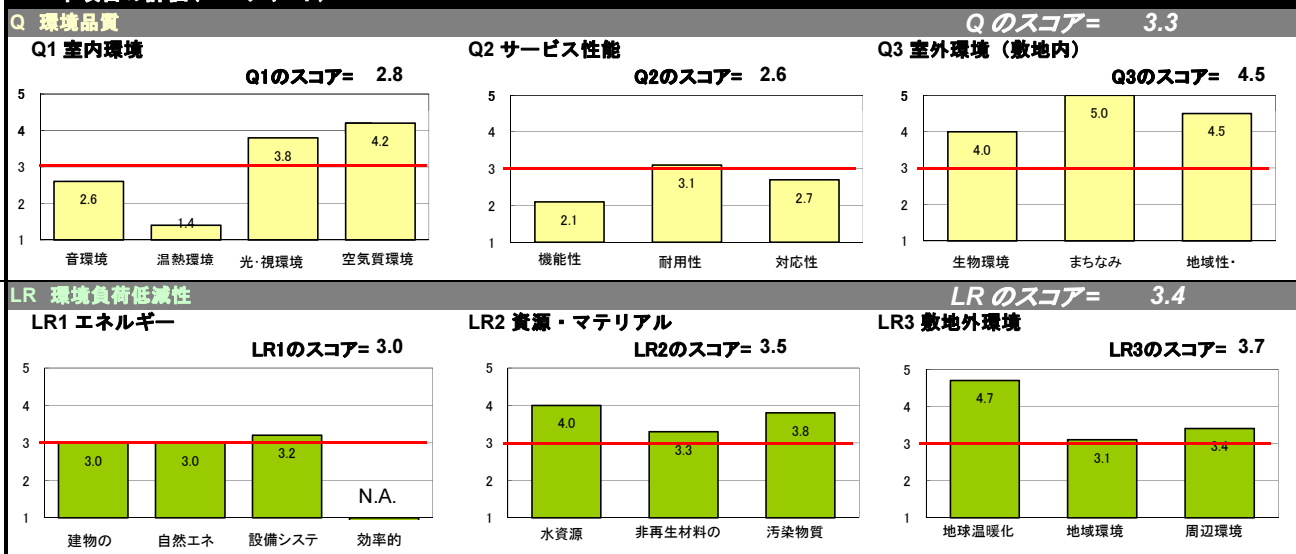
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
・市営住宅として、居住者と地域住民の良好なコミュニティの形成に貢献し、隣接する北岩本児童公園との連続性や周辺環境、景観への配慮により、京都の市営住宅の規範となる施設を目指している。市営住宅と地域施設との複合施設であるDブロックとの一体的な計画を行っている。		0
Q1 室内環境 ・京都市営住宅の仕様に基き、経済性に配慮した計画としている。	Q2 サービス性能 ・高齢者の利用に配慮した施設の計画、風土色を活かしたあたたかみのある施設として計画を行っている。又、市営住宅の基本仕様に基づく将来を見据えた設備計画を行っている。	Q3 室外環境 (敷地内) ・隣接する児童公園との調和をはじめ、地域の自然環境に配慮した計画とし、建物外観において町並みの保全に貢献する計画を行っている。
LR1 エネルギー ・共用部における高効率な設備機器の採用、自然換気を十分に行える施設を計画し、市営住宅としての明確な運用方針に基づいて運用を行うものとする。	LR2 資源・マテリアル ・比較的広範囲な外構において、再生材を含む材料の採用を行う。節水はもとより、雨水の再利用を行う。	LR3 敷地外環境 ・地域のコミュニティ形成に重要となる南側認定道路の歩行者動線に配慮した広場及び導入部の計画を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される